令和８年度宗谷総合振興局道営農業農村整備事業等環境情報協議会　次　第

日時：令和８年９月８日(火) 13:15～15：00
場所：猿払村役場２階　第５会議室

（協議会委員及び宗谷総合振興局職員は、10:30～12:00 までエサンベ地区（猿払村）を視察）

1　開会　　１３：１５

2　主催者挨拶

3　委員紹介

4　座長選出

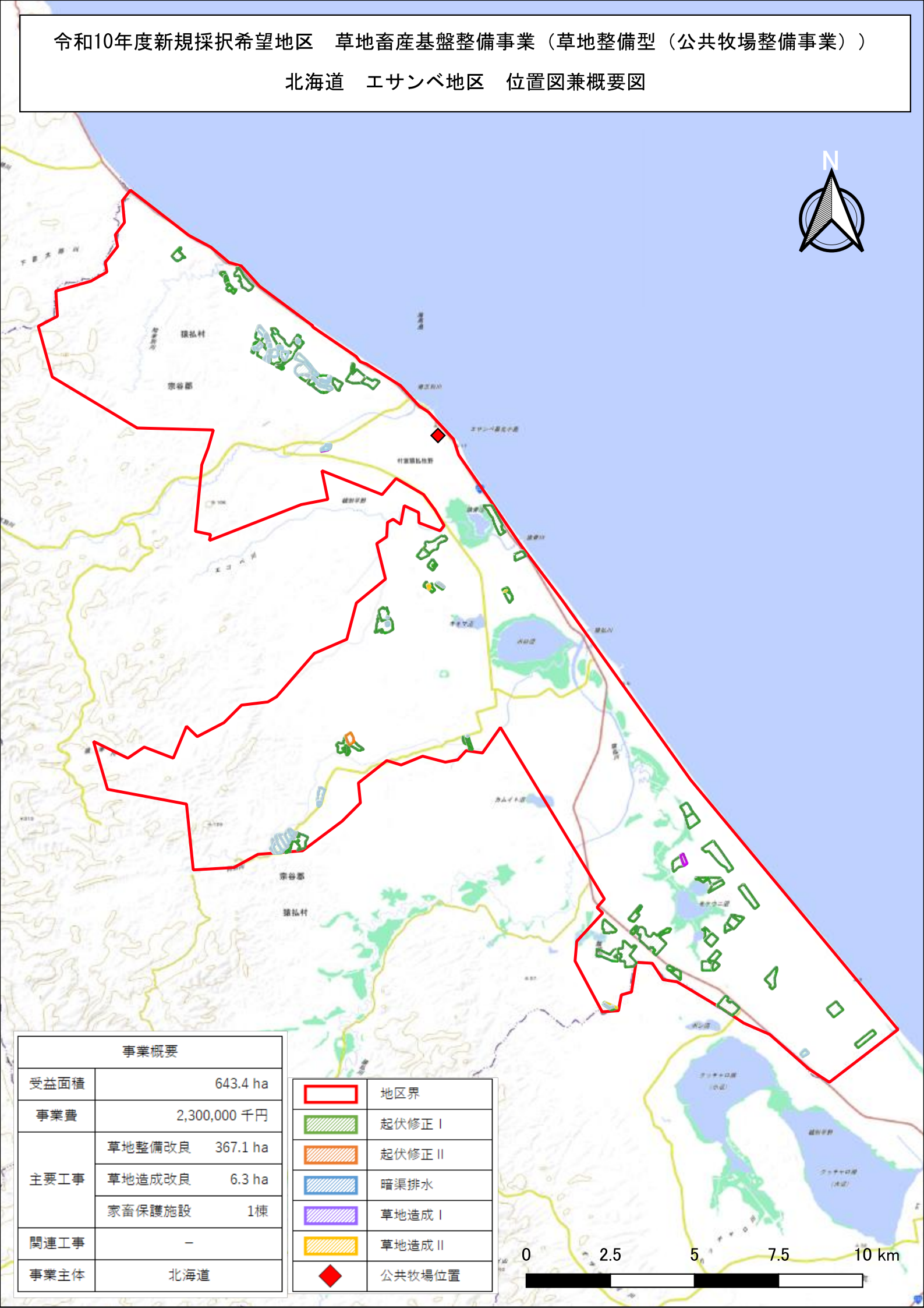
5　協議・意見交換
　①　令和７年度協議会の振り返り
　②　草地畜産基盤整備事業（草地整備型（公共牧場整備事業））　エサンベ地区
　③　草地畜産基盤整備事業（草地整備型（道営草地整備事業））　ぬまかわ地区
6　閉会挨拶

7　閉会　　１５：００

# 令和8年度　環境情報協議会　協議予定地区位置図

# 令和10年度新規採択希望地区　草地畜産基盤整備事業（草地整備型（公共牧場整備事業））

## 北海道　エサンベ地区　位置図兼概要図




| 事業概要 | | |
|---|---|---|
| 受益面積 | | 643.4 ha |
| 事業費 | | 2,300,000 千円 |
| 主要工事 | 草地整備改良 | 367.1 ha |
| | 草地造成改良 | 6.3 ha |
| | 家畜保護施設 | 1棟 |
| 関連工事 | | － |
| 事業主体 | | 北海道 |

| | |
|---|---|
| | 地区界 |
| | 起伏修正 I |
| | 起伏修正 II |
| | 暗渠排水 |
| | 草地造成 I |
| | 草地造成 II |
| | 公共牧場位置 |

# 令和8年度　宗谷総合振興局
# 道営農業農村整備事業等
# 環境情報協議会

**農業競争力強化農地整備事業**
**草地畜産基盤整備事業(草地整備型【公共牧場整備事業】)**

**エサンベ地区(猿払村)**

**宗谷総合振興局　農村振興課**

# 地域の概要

・エサンベ地区がある猿払村は宗谷管内北東部に位置するオホーツク海に面している。総面積の約8割が山林や原野であるという地形的特徴がある。

・村内の広大な農地のほとんどが牧草畑であり、村営牧場を中心とする、酪農専業地帯が広がっている。

・農用地面積は、猿払村総面積の1割強となっており、水産業と酪農業の一次産業が主体である。酪農は、乳牛飼養農家76戸であり、乳牛飼養頭数が約7千頭、生乳出荷量が32千t、農業粗生産27億円の規模となっている。

# 周辺の環境について

①さるふつ公園(道の駅)

「さるふつ公園」は国道238号線に沿って、オホーツク海と広大な猿払村営牧場に囲まれている。

公園全体が「道の駅」に指定され、村民の憩いの場であるとともに村の観光拠点にもなっている。

②国道沿いの池沼

四季折々の花が咲き、背景の広大な牧草地と相まって、訪れる観光客に感動を与えている。

# 事業概要(現状と目標)

①酪農家の法人化による規模拡大や、TMRセンター設立による農作業の分業化による飼育頭数の増加に伴い、本村営牧野への預託希望頭数も増加しており、良質飼料の確保、育成牛(哺育牛)受入体制の強化が課題。

②また地域の草地においても、経年劣化に伴う不陸や排水不良による粗飼料の品質低下が生じており、高品質な粗飼料の確保が課題。

草地整備改良により、良質粗飼料の増産と安定化を図るとともに、新たな哺育牛舎を整備することで受入体制の強化を図る。併せて各酪農家が所有する草地の整備改良を行い、自給飼料の生産基盤の強化を図り、生産性の向上と作業性の向上を図り、地域の基幹産業である酪農の持続的な発展を目指す。

# 事業概要②

事業概要

・受益面積：643.3ha

・受益戸数：11戸(猿払村公共牧場を含む)

・事業工期：令和10年度～令和15年度

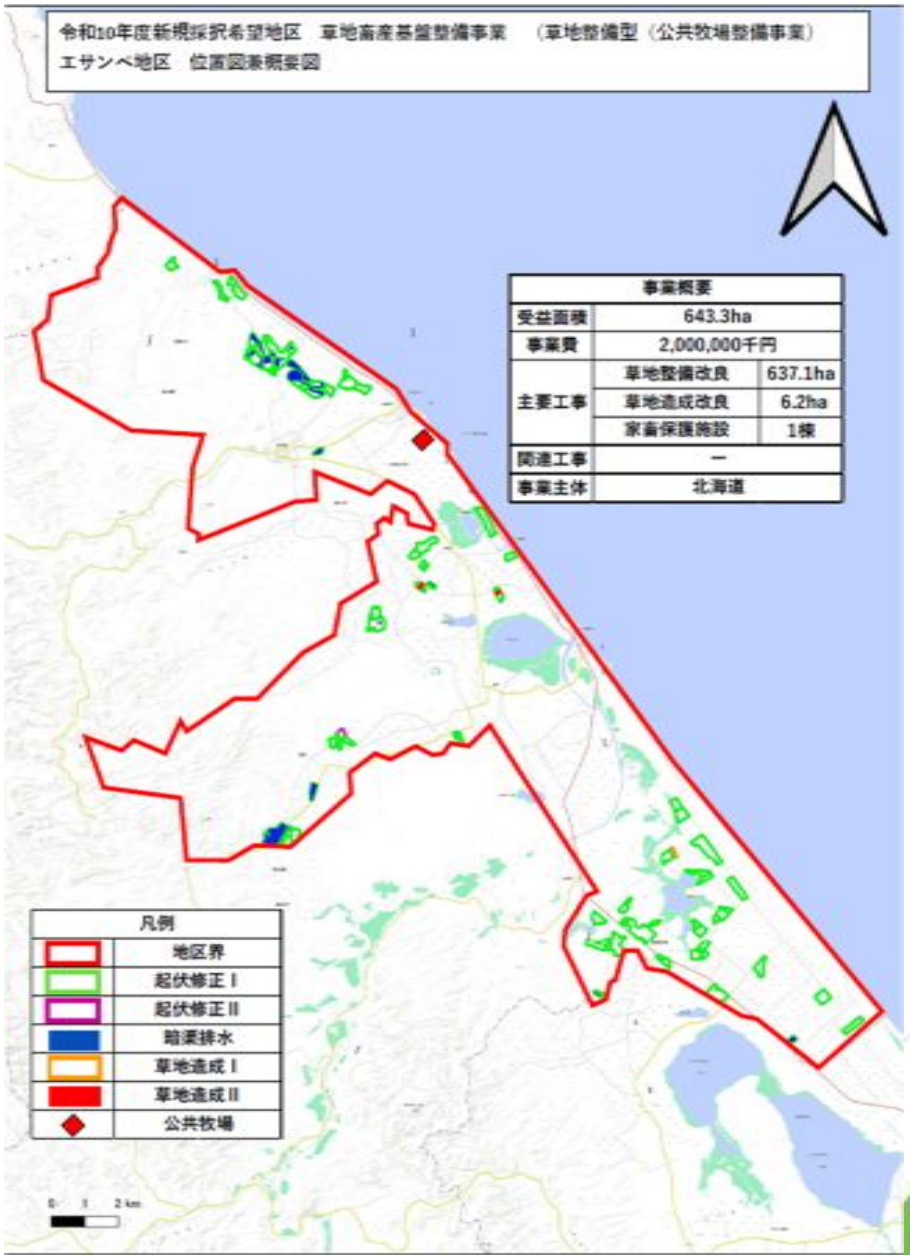
・事業費：2,000,000千円

# 事業概要③

主要工事
・起伏修正Ⅰ：631.8ha
・起伏修正Ⅱ：5.3ha
・暗渠排水　：114.6ha
・草地造成Ⅰ：0.2ha
・草地造成Ⅱ：6.0ha

施設関係
・施設用地造成：一式
・家畜保護施設整備：1棟(哺育舎)

# 事業概要④
# (事業実施箇所一覧)



# 事業工種①

- 起伏修正Ⅰ

営農機械の作業効率化、牧草収量の増加等を目的に、ほ場の凹凸を修正する。

- 起伏修正Ⅱ

勾配や褶曲が大きく、営農に支障の生じているほ場において整備を行うことで、営農機械の作業効率化や牧草収量の増加を図る。

# 事業工種②

- 草地造成Ⅰ

ほ場に隣接した野草・笹等の被覆地を、草地造成することで、草地を広げ、飼料自給率の向上と経営の安定化を図る。

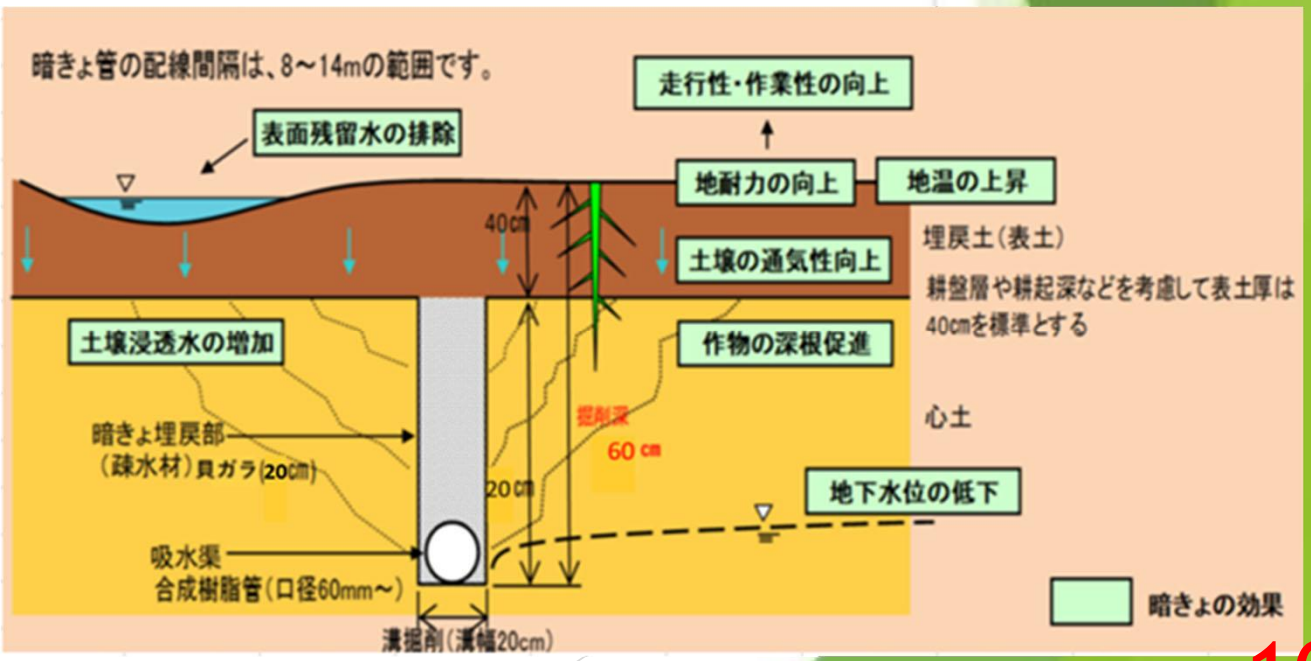
- 草地造成Ⅱ

ほ場に隣接した野草・笹等の非草地で、傾斜緩和等をともなった草地造成を行い、飼料自給率の向上、経営の安定化を図る。

# 事業工種③

- 暗渠排水について

排水不良の土地に水抜き管を埋設し、地表残留水の排除を行ったり、地下水位を低下させることにより、草地の品質向上及び収量の増加、営農機械の作業効率化を図る。

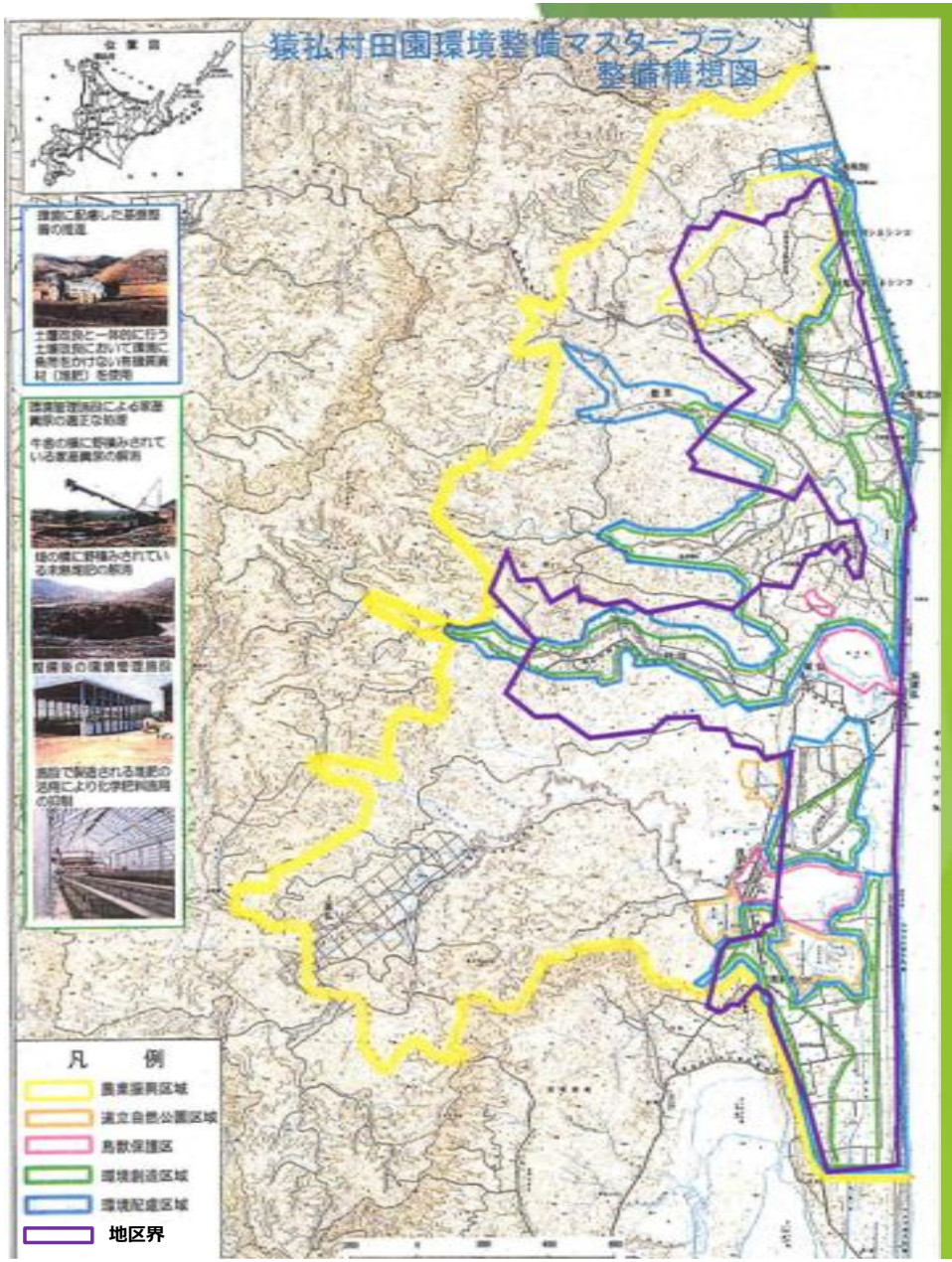


# 猿払村田園環境整備マスタープラン整備構想図

青枠：環境配慮区域
緑枠：環境創造区域
紫枠：事業実施地区

猿払村田園環境整備マスタープランでは、本地区は**「環境配慮区域」**及び**「環境創造区域」**内となっている。

→**「環境配慮区域」**：工事の施工にあたり、環境に与える影響の緩和を図るなど環境に配慮する区域
→**「環境創造区域」**：自然と共生する環境を創造するための施設等を重点的に整備する区域



# 地域の動植物について

【動物】

キタキツネ、エゾタヌキ、エゾシカ、ヒグマ等

【鳥類】

ヒバリ、ノゴマ、コヨシキリ、オオジュリン、ベニマシコ等

【魚類】

ヤマベ、イトウ、フクドジョウ、イトヨ、ワカサギ、ヌマガレイ等

【植物】

シロヨモギ、エゾノカワラマツバ、ウンラン、ヨシ、ミズナラ、トドマツ、ササ、ハンノキ等

出典：猿払村田園環境整備マスタープラン(平成14年2月21日作成)

# 環境に配慮した取組
# 土砂流亡･汚濁水流下防止対策の具体例

本地区の整備にあたっては、現況の自然環境を十分把握し、環境への影響を極力回避・軽減するよう、施工時においては、次のことに配慮し、工事を実施する。

（１）原則：土砂流亡の可能性がある天候の場合は工事を行わない。

(２)工事中に降雨があった場合は、工事を一時中止すると共に、状況によっては、土のう等により、土砂流出防止の対策を講じる。

（３）暗渠排水に係る付帯排水路を施工する場合は、貝ガラ等を詰めたフトン篭を設置し、河川への土砂等の流出防止対策を講じる。→右図はイメージ画像